桃源の家拠点中期事業計画

(特別養護老人ホーム桃源の家)

I. 中期目標

1. 利用者サービスの充実

日常生活における介護を行う上で、入居者の能力に応じた自立支援介護を念頭に置き、自立した日常生活を営むことができることで、健康的な生活が送れるよう支援いたします。

KGI（重要最終 目標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	月平均稼働日数	年 35,770 日 ÷ 12 か月	2,980 日

2. 地域社会との関係性強化

地域の方々と包括的な社会形成を築いていくために、施設資源の活用やボランティアの受け入れなどを実施し、地域に理解される姿勢を強化するとともに、公益的事業の活動を積極的に実施、また活動内容を周知させていただきます。

KGI（重要最終目 標指標）	指標の名称	算出式	指標値
	オレンジカフェ月の	120 人 ÷ 12 か月	10 人

	平均参加者		
--	-------	--	--

3. 生産性の向上

100床定員の回復と安定的な稼働率の確保、さらに新たな加算取得体制の構築により採算性アップに努めるとともに、多職種連携体制によりできる限り人員数を抑え収支の安定を図ります。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI（重要最終目標指標）	人時生産性	413,600 千円 ÷ 145,846 時間	2.84 千円
	労働生産性	413,600 千円 ÷ 76.6 人	5,399 千円

算出式：人時生産性 = 付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間 = 所定労働日数（238日）× 8H × 総職員数（常勤換算数）

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 総職員数（常勤換算数）

II. 中期計画

1. サービス計画

利用定員を10床増床し事業規模の拡大を図るとともに、自立支援介護を基本とした以下のサービスの充実・強化を通じてもたらされる成果目標（利用者の生活状態の維持・改善）の達成に取り組みます。

- ① 生活支援と機能訓練の充実・強化
- ② 入浴支援の充実・強化
- ③ 排泄支援の充実・強化
- ④ 健康管理の充実・強化

上記のサービスでの成果指標は以下のとおり。

KPI	1年目	2年目	3年目	KPIの内容
機能訓練実施率	10%	同左 20%	同左 30%	生活レベルの安定を図る目的にて、1日の水分摂取量 1,000 ml以上確保者 70%を目標とし、機能訓練実施者を増やします。
入浴実施率	90%	同左	同左	個浴槽・特殊浴など

				個々の状態に合わせ、週 2 回の入浴確保を前提に取り組みます。
終日オムツ着用率	30%未満	同左	同左	日中はできる限りオムツを使用せずに過ごしていただく取り組みとして終日オムツ着用者を各ユニット 6 人未満として取り組みます。
毎月の入院日数	40 日以内	同左	同左	日々の健康チェックをこまめに行い、毎月の入院日数が 40 日未満となるように健康管理に努めます。
入院者数	年 30 名以内	同左	同左	日々の健康管理を実施するとともに、自立度を高めていくことにより

				入院者数を減少させていく。
食堂での摂食率	90%以上	同左	同左	寝食分離を原則として、食堂での摂食を促し、生活感を高めていく。
看取りケア実施率	30%	同左	同左	入院者の減少により病院での死亡を出来る限りなくし、特養としての機能を発揮していく。
事故発生件数	年5件未満	同左	同左	自立度の向上等により報告義務のある事故発生数を減少させる。

2. 収益計画

収益計画については以下のとおりとします。

(単位：百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
サービス活動収益	470	470	470
サービス活動費用	399	404	409
人件費	286	291	296
事業費	68	68	68
事務費	27	27	27
利用者負担軽減額	2	2	2
減価償却費	38	38	38
国庫補助金等特別積立金取崩額	22	22	22
サービス活動増減差額	71	66	61
経常増減差額	71	66	61

・計画サービス活動収益は 100 床定員の稼働率 98% で計画しています。

・計画付加価値額 413.6 百万円

・計画労働分配率 2021 年度 69.1%

2022 年度 70.4%

2023 年度 71.6%

・計画人件費率 2021 年度 60.9%

2022 年度 61.9%

2023 年度 63.0%

3. 人員計画（常勤換算数）

人員計画については以下のとおりとします。

（単位：人）

職 種	2021 年度			2022 年度			2023 年度		
	正規	非正規	計	正規	非正規	計	正規	非正規	計
施設長	0.9		0.9	0.9		0.9	0.9		0.9
副施設長	0.5		0.5	0.5		0.5	0.5		0.5
課長	2.0		2.0	2.0		2.0	2.0		2.0
介護支援専門員	2.0		2.0	2.0		2.0	2.0		2.0
生活相談員	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
介護職	31.0	17.4	48.4	31.0	18.4	49.4	31.0	18.4	49.4
看護職	3.0	2.0	5.0	3.0	2.0	5.0	3.0	2.0	5.0
リハビリ職	1.8		1.8	1.8		1.8	1.8		1.8
管理栄養士	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
栄養士	0.9		0.9	0.9		0.9	0.9		0.9
調理員	4.0	2.9	6.9	4.0	2.9	6.9	4.0	2.9	6.9

事務員		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0
環境・夜警員		4.2	4.2		4.2	4.2		4.2	4.2
嘱託医師 2 名									
計	48.1	27.5	75.6	48.1	28.5	76.6	48.1	28.5	76.6

・人員計画は法人の事業所別人員計画数をベースとしています。

* 介護職数（非正規）には外国人技能実習生 2 名を含む。

* 施設長はショート兼務（0.1 人分）

* 副施設長は看護課長兼務（0.5 人分）

* 介護課長 2 名は、現業介護職との兼務（1.0 人分）

* 業務課長はショート生活相談員兼務（0.5 人分）

* リハビリ職 1 名はショート兼務（0.2 人分）

* 栄養士はショート兼務（0.1 人分）

* 医師は嘱託医のため人員数に含めない。

4. 生産性向上計画

(1) 事業規模拡大計画

2017年度からサービスの質と安全で安心な環境改善のため、定員を10床削減いたしておりましたが、2021年度から体制を整え10床回復とし、さらに新規加算取得のための取得条件整備にも取り組んでいきます。

(2) 稼働率向上計画

	2021年度	2022年度	2023年度
定員数	100人	100人	100人
稼働率	98%	98%	98%

(3) 新規加算取得

取得加算（実績）	取得加算（計画）
看護体制加算Ⅰ	看護体制加算Ⅰ（既存）
看護体制加算Ⅱ	看護体制加算Ⅱ（既存）
栄養マネジメント加算	療養食加算（既存）
療養食加算	看取り介護体制加算Ⅰ（既存）
看取り介護体制加算Ⅰ	サービス提供体制加算（既存）
サービス提供体制強化加算Ⅰ	介護職員処遇改善加算Ⅰ（既存）
介護職員処遇改善加算Ⅰ	介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ（既存）
介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ	口腔衛生管理加算（既存）
口腔衛生管理体制加算	初期加算（既存）
初期加算	外泊時・入院時加算（既存）
外泊時・入院時加算	個別機能訓練加算Ⅰ（新規）
	栄養マネジメント強化加算（新規）
	経口維持加算（新規）
	認知症専門ケア加算Ⅰ（新規）
	生活機能向上連携加算Ⅰ（新規）
	科学的介護推進体制加算Ⅰ（新規）
	ADL維持等加算Ⅰ（新規）

	<p>自立支援推進加算（新規）</p> <p>褥瘡マネジメント加算Ⅰ（新規）</p> <p>排泄支援加算Ⅰ（新規）</p> <p>日常生活継続支援加算Ⅰ（新規）</p> <p>安全対策体制加算（新規）</p> <p>夜勤配置職員加算（新規）</p> <p>若年性認知症受入加算（新規）</p> <p>精神科療養指導加算（新規）</p> <p>退所前後訪問相談援助加算（新規）</p> <p>退所前連携加算（新規）</p> <p>退所時相談支援加算（新規）</p> <p>在宅復帰支援機能加算（新規）</p> <p>在宅・入所相互利用加算（新規）</p> <p>認知症行動・心理症状緊急対応加算（新規）</p>
--	--

新規加算取得により年間 2,053 千円増加を図る。

(4) 業務見直し計画

業務見直し計画	期待される成果
<p>○お掃除ロボット導入 (2022 年度実施)</p>	<p>○玄関ロビーや廊下または交流ホールなど広いスペースを主に ロボットを活用し、環境整備員の業務負担軽減と業務に 対し適切な人員整備を行います。</p>
<p>○インカムの導入 (2022 年度実施)</p>	<p>○部署間および施設内連絡の際に手を止めることなく、スムー ズに行うことで、業務を無駄なく効率よく実施することで生 産性を高めます。</p>
<p>○人員配置の整備 (2021 年度実施)</p>	<p>○職種間の連携・協力をより強固にし（看護師のユニット固 定化や多職種の短時間の業務支援など）必要最低限で の人員体制の整備に努めます。</p>
<p>○介護ロボット導入 (2022 年度実施)</p>	<p>○利用者の方の安全・安心の確保と職員の業務効率化の 観点から導入を検討します。2021 年度は導入内容等につ いて調査・研究し、導入に向けての準備を進める。</p>

5. 地域との関係強化計画

取り組み事項	具体的内容
○ボランティアの受け入れと地域 交流 ○公益事業の推進	○お茶会や音楽活動などのボランティア依頼や学生ボランティア等の受け入れを実施し、学生の職場体験や保育所交流等の実施も積極的に行います。 ○地域貢献を目的とした「認知症カフェ」「ひだまりサロン」事業をより充実させるための広報活動を行うことで活動内容の周知に努め、参加者の増員を図ります。

6. 積立計画

3カ年の積立額は以下のとおりとします。

(単位：千円)

積立額	2021 年度	2022 年度	2023 年度
再建設	35,000	35,000	35,000
大規模修繕	5,000	5,000	5,000
その他	4,000	4,000	4,000
計	44,000	44,000	44,000

7.感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、BCP に基づくシミュレーションや訓練を実施します。

以上